

大樹町・広尾町の取組

中核校：大樹町立大樹小学校

指定校：大樹町立大樹中学校、広尾町立広尾小学校、豊似小学校、広尾中学校

「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた学校改善

取組 (4) 教員の資質・能力の向上

ニーズを大切に捉えたメンター研修の実施

「学級経営について考えよう」、「保護者との関係づくりで大切にしたいこと」、「みんなで考えよう！算数の指導」、「学習指導要領の読み方」、「令和の漢字学習法」、「学力向上～コツコツ指導～」、「養護教諭との連携で望むこと」などをテーマとして、メンター研修を実施した。

若手教員の育成を主眼としたメンター研修では、中堅・ベテラン教員の知識・技能や心構えなどが活発に交流されるとともに、それぞれの立場や役割の再確認や、学び続ける環境の醸成につながっている。

成果

共通の課題意識をもって学び合う機会は、学校力の充実を支える「ベクトルを揃える姿勢」育む上で大変効果的であり、研修を進める上でICT機能を効果的に活用することで、より分かりやすく学びが深い「コンパクトでインパクトのある」研修の実現へと結び付いている。



【ICTを活用した研修の様子】

質の高い教育活動を持続的に行う働き方改革の実施

取組

(3) 業務の効率化に向けた取組の充実

校内全体で推進するICTを活用した取組の充実

コロナ禍の中では全校児童が集まる活動がなかなか行えないことから、「ピンチはチャンス」の発想のもと取組の工夫と創造を心がけ、ICTを活用した全校集会を実施した。二人の事務職員が撮影し、回を重ねるごとにカメラワークの工夫も進み、教室で参加している児童により分かりやすく状況が伝わるようになった。事務職員は撮影した画像をHPで随時発信し、家庭・地域との情報共有を図っている。発表を行う児童には学習指導要領で示されている指導事項を意識した事前指導を行い、「話すこと・聞くこと」の力を育成する機会の充実を図っている。

成果

ICTを活用した取組の工夫を全教職員で行ったことにより、学校としての一体感が醸成されるとともに、ICTを積極的に活用しようとする意識が高まった。集会活動のみならず、授業や係活動をはじめとした学級活動等での活用、家庭学習での取組など、ICTが特別なものではなく当たり前的手段として活用される環境が整備された。



【全校集会の発表を事務職員が撮影している様子】